

五大ソフト「補強土 ver.15 ver.16」の利用法

1 メイン画面

長寿命補強土植生型と
長寿命補強土モルタル吹付型
はこちら

メイン画面

補強土

NEXCO要領を基本とした補強土工法

☒ 切土補強土工法

※ 以前の補強土と同様に、補強材やのり面工を自由に組み合わせることができます。

メーカー専用工法

※ 専用工法を主な用途で分類しておりますが、切土法面、自然地山の **どちらにも適用可能**です。

主に切土法面の補強土工法	主に自然地山の補強土工法
☐ DCネット工法	☐ ESネット工法
☐ GTF受圧板工法	☐ GF式鉄筋挿入工法
☐ HALUパネル工法	☐ アングルボルト工法
☐ HDネット工法	☐ イーグルホールド工法
☐ LL補強土工法	☐ パンフレーム工法
☐ PAN WALL工法	☐ パワーネット工法
☐ SPノイルネイル工法	☐ プレストネット工法
☐ ウッド筋工法(鉄筋挿入型)	☐ ユニットネット工法
☐ クモの巣ネット工法	
☐ ホーク・ネーリング	

工法の概要 (Web)

決定 キャンセル

2 のり面工の条件設定

長寿命補強土を選んで、青枠部分で植生型かモルタル吹付型にして下さい。

のり面工の条件設定

☒ 配置別自動計算でのり面工の計算を行う

作用力 のり面工の選択 検討規格

のり面工の種類

【のり枠】

☐ のり枠工

☐ 台形フレーム (フリーフレーム)

☐ RTフレーム工法 (強化簡易法枠)

【全面吹付】

☐ 吹付工

☒ 長寿命補強土

☐ パス工法wide (既設モルタル補修)

工法: 植生型

※ のり面工の設計計算は行いません。
工事費のみの算出となります。

【コンクリート】

☐ YSロックボルト支圧装置

【鋼製】

☐ KITフレーム

☐ KTB・オクトフレーム

☐ ジオメトリックパネル

☐ 田パネル

【プラスチック】

☐ EP受圧板

☐ FFU低荷重用受圧板

☐ NINJAパネル

☐ RSパネル

☐ グリーンパネル

☐ クロノパネル

【アルミ】

☐ アルミディスク

【プラスチック・アルミ】

☐ MK受圧板

3 その他

エポキシ樹脂塗装鉄筋の付着強度について

エポキシ樹脂塗装鉄筋の $24\text{N}/\text{mm}^2$ グラウト材との付着強度は、多くの現場で普通鉄筋 $1.6\text{N}/\text{mm}^2$ に対し $1.3\text{N}/\text{mm}^2$ 以上が使用されています。また、ソフトの工事費は、植生工も含んでいます。そのため、植生工を含まない他の工法より建設時点で高いと誤解されることが有りますが、植生工を除くと多くの場合で低コストです。